

図書館部報

岡崎市現職研修委員会

学校図書館部

平成28年 9月30日

No. 2

本の魅力って何ですか？



現職研修委員会学校図書館部部長
常磐東小学校 校長 近藤 嗣郎

「あなたにとって、本の魅力は何ですか？」と、聞かれたら何と答えますか。おそらく答えは人によって異なり、一つに限らないのかもしれませんが。それは、読み手の興味や考え方、選んだ本の内容やジャンルによっても異なるからです。

実は、先日の教育研究大会で図書館部会に参加された先生方に、この質問をしました。

すると、「未知の世界や地域、新たな分野や技術、過去の人物や時代の様子を知ることができる。」「疑似体験できる。」「心が安らぐ。」「語彙力、思考力・表現力が身につく。」「人生が豊かになる。」など、本の魅力については、予想していたとおりにそれぞれに考え方は異なっていました。

自分自身にも問い返してみました。そういえば、私は、幼い時から活字に親しむより友達と暗くなるまで遊び、家に帰ればテレビから離れない生活で、本を読むという習慣はありませんでした。両親は1日中「がら紡（木綿糸機械）」で働いており、今振り返ってみても、身近に自分が読めるような本がなかったように思います。だから、小学校に入っても、年に1、2冊感想文を書くために図書室で本を借りて読むぐらいで、本の魅力を感じるころまではいきませんでした。

そんな私でしたが、中学3年生の春、ある転機が訪れました。それは、国語科担任のN先生の言葉でした。あれから40年以上経過した今でも、先生の言葉と優しい笑顔は私の脳裏に残っています。当時、私は国語の力が伸びず、真剣に悩んでいました。定期テストでは点数が取れていたのですが、実力テストとなると全くできず、通常の半分も取れないことが続きました。

そんな私の姿を見て、N先生は、「点数が取れなくて困っているみたいですね。でも焦らなくてもいいです。点数に関心をもつより、問題集の解説を丁寧に読んで答え方のパターンを覚えなさい。そして、本をたくさん読みなさい。深く読む必要はありません。気楽に速めに読むことです。」続けて、「すぐに力は身に付かないけど、やってみたらどう。興味のある本を読めばいいから。」と、勇気づけてくれました。しかし、何を読んでよいか分からず、足は図書室に向かいました。室内には、新刊本のコーナーがあり、36冊ほどのシリーズで、黄色のカバーの本が目にとまりました。国内外の偉人の伝記でした。「エジソン」「豊田佐吉」「シュバイツァー」「野口英世」……。

最初は、N先生の優しい言葉を無視できないという義務感から読み始めました。でも、次第に、人の生き方や考え方にはいろいろあることを知りました。また、これまで自分が貧しいことを恥ずかしく思っていたが、偉人の中にも厳しい逆境の中で仕事を成し遂げていることを知り、自分を誇らしく感じました。この気持ちは、うまく表現できませんが今までなかった感情でした。

正直言って、今でも、活字より活動したり映像を見たりする方が自分に合っています。私にとって本の魅力は、40年前とそれほど大きく変わっていません。今まで知らなかった人の生き方や考え方に触れて参考にすることです。求めている本に偶然出会ったとき、心が豊かになります。

そう考えてみると、N先生の言葉が今でも私を支えているように思いました。同様に私も、心の支えを与えていけるような人になりたいと心に念じています。

読み聞かせの基本と実技講習

～授業力・教師力アップセミナー（基礎編）～

8月9日（火）に、授業力・教師力アップセミナー（基礎編）が「りぶら」で行われました。今年度も、45名を超える先生方が熱心に研修に励みました。

今年度は、読書指導の玄関口とも言える読み聞かせをテーマに、「日本子どもの本研究会」の森千香先生を講師としてお迎えし、2学期からの実践に役立つことをたくさん教えていただきました。

研修① 読み聞かせの基本

講師の先生から、抑揚や強弱などの読み方をはじめ、めくり方、座り方、本の角度など、すぐに生かせそうな技術をたくさん教えていただきました。また、裏表紙まで見せていくことも大切であるなど、具体的なアドバイスを数多くいただきました。



＜熱心に話をされる森千香先生＞

参加者の声
本の読み聞かせは、自分で行いたいと思ってもなかなかできていませんでした。また、読み方も本の持ち方や声の出し方など、分からないことが多かったです。しかし、この研修でとても丁寧に読み聞かせの方法を教えていただき、2学期で早く実践したいと感じました。また、自分の知らなかった絵本を知ることができたり、いろいろな先生の読み聞かせを聞けたり、とても勉強になりました。（井田小 堀田 頌子）

読み聞かせについて、こんなに真剣に考えたのは、とてもよい学習になりました。読み方、本の選び方、改めて考えさせられました。きちんと予習をして、子供たちにとって有意義な時間になるよう、頑張っていきたいと思います。（北野小 鈴木 信帆）

研修② 読み聞かせの実践



＜読み聞かせに熱心に取り組む参加者のみなさん＞

参加者の先生同士での読み聞かせを実際に体験したことで、それぞれの先生ならではの読み聞かせの工夫をいろいろと学ぶことができました。多くの本に出会うこともでき、本の世界が広がる時間となりました。

参加者の声
中学で読み聞かせをする機会はなく、どうなのかなと思っていましたが、講師の先生のお話を聞いたり、グループに分かれて読み聞かせをしたりして、読み聞かせをもっとやっていきたいと思いました。たくさん本を紹介していただき、とても充実した時間でした。（額田中 三井 靖子）

《お知らせ》

◎ 県教研大会の読書・学校図書館分科会において、正会員に、丹下知佐子先生（六ツ美北部小）、柴田 麻有先生（常磐南小）が決まりました。ご活躍を期待します。